

梅雨、時には猛威に



る。

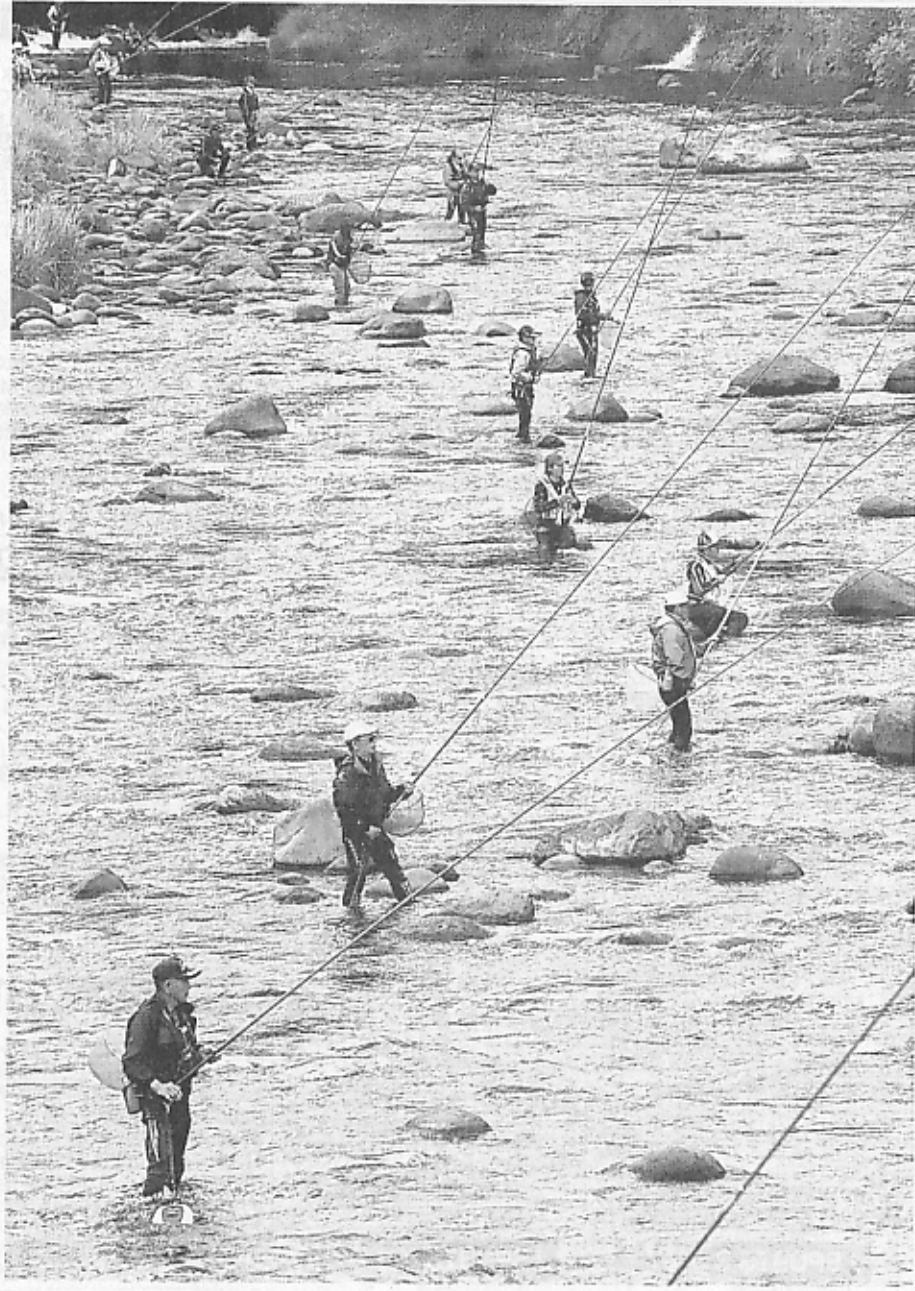
ところがこの梅雨、末期には大雨になることが多く、所によっては豪雨が集落を襲い、人命をのみ込む恐ろしい自然現象にもなる。

梅雨前線が北上してきた。沖縄・九州地方で「梅雨入り宣言」が相次ぎ、列島は長雨の季節に入る。この時期をうっとうしいと感じる人も多いが、雨にぬれたアジサイの花が楽しめ、農作物には恵みの雨でもあ

200人以上の犠牲者を出した昨年7月の「西日本豪雨」を受け、気象庁は5月29日、豪雨で土砂災害や洪水の危険が予想される際、生き残るための行動を5段階表示する「警戒レベル」の運用を始めた。これまでこの種の情報は「種類が多く、わかりにくい」と

の指摘があったため、気象庁や自治体が出す情報や警報を5段階の警戒レベルに整理し、各段階で住民が取るべき行動をリンクさせた。例えば、気象庁が出す「大雨警報」はレベル3で、子供や高齢者は避難。自治体が出す「避難勧告」はレベル4で全員避難となる。この新しい警戒レベルによれば、西日本豪雨は多くの地域でレベル4、5に相当していた。従って住民は「全員避難」か「災害が発生、命を守るための最善の行動」を取るべきだった。

いる。県は手軽に防災情報が入手できるスマートフォンアプリを開発し、6月から運用を始めた。利用者は現在地の気象情報や避難指示・勧告などの緊急情報を自動的に入手できる。県内多くの河川で6月1日、アユ釣りが解禁された。アユ釣りの名所、狩野川は連日多くの釣り人であざわい、上流の修善寺温泉では「ほたるの夕べ」。釣り人も観光客も豊かな水の恵みを楽しんでいるが、「水の怖さ」も忘れてはならない。東海地方も7日、「梅雨入り」した。(前静岡県監査委員・富永久雄)



アユ釣りでにぎわう狩野川。伊豆市、全日写真連・若林茂さん撮影